



7月4日
平和行進 大阪市

第25回 ママ友会議

7月22日(木・祝) 午後1時～
アネックスパル法円坂 和室
JR森ノ宮・谷町4丁目

発行 大阪市学校園教職員組合 大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)

TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



集まって語ることが重要

12人が
発言交流

拡大中央委 2021年度の取り組み決定



大阪市教は7月3日、拡大中央委員会を行い、今年度の取り組みが提案、採択されました。討論では支部や専門部から、12人の発言があり、現場の状況や取り組みなどが語られました。



宮城委員長は報告で、コロナによる死者数が大阪府で2688人(6月29日時点)で全国最多であることを示し、保健

所や病院つづしなどで医療崩壊を招いた維新府・市政の責任は重大だと強調しました。また、オンライン学習について、専門家の意見を聞かず強行し、現場を混乱させ、子どもの学ぶ場を奪ったと述べ、生きつらい大変な状況に子どもが追い込まれていると述べました。引き続き、教育を守る政治を求め、維新政治からの転換を促すよう呼びかけました。



「21年度の取り組み」報告において、覚道書記長は子どもの「のびのび、やりたいことをやってみる」という教育の本

質が破壊されていると訴え、維新市政の教育破壊を止めようと強く訴えました。続けて、感染症対策における負担軽減、教員免許更新新制度廃止、長時間過密労働の解消、労働条件の改善の取り組み、組織拡大を強める取り組みを上げようと呼びかけました。(以下、討論掲載)

子ども 教員も疲弊

学校が疲れている。子どもも教員も限界。松井市長の「オンライン授業」の発言で現場は、毎日オンライン学習のプリント作成や印刷

免許更新廃止求める声 子育て大変 意欲そがれる

「教員免許更新制の廃止を求める要請書」が各職場で取りまとめられ、本部に続々と届いています。多数寄せられた「私のひとこと」を掲載します。

「子育てをしながらの講習受講が本当に大変でした。保育所の時間に間に合わないため、さらに高額

な受講費を払い動画講習を受けました。〇日々、目の前の子ども達に向き合い、参考書を読み研修に参加し、試行錯誤をしながら過ごしています。子ども達のためになることに時間をとりたいです。免許更新講習は負担です。〇教員の研修は、ま

ず日々の授業にしっかりと向き合える時間を確保することが大事なこと。免許更新は、それをさまたげている。〇定年後も元気であれば仕事を続けたいと思っても、免許更新が定年後すぐやってくると、更新までしてなあと考え

てしまっている意欲をそがれる気がします。〇35人学級になるにつれて、退職された先生方の力が必要になります。このままでは人手不足になるのは目に見えています。〇多忙極まる教育現場。休憩も取れないブラック企業(?!)

〇定年後も元気であれば仕事を続けたいと思っても、免許更新が定年後すぐやってくると、更新までしてなあと考え

〇多忙極まる教育現場。休憩も取れないブラック企業(?!)

〇定年後も元気であれば仕事を続けたいと思っても、免許更新が定年後すぐやってくると、更新までしてなあと考え

〇定年後も元気であれば仕事を続けたいと思っても、免許更新が定年後すぐやってくると、更新までしてなあと考え

〇定年後も元気であれば仕事を続けたいと思っても、免許更新が定年後すぐやってくると、更新までしてなあと考え

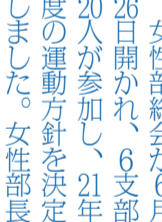
〇定年後も元気であれば仕事を続けたいと思っても、免許更新が定年後すぐやってくると、更新までしてなあと考え

〇定年後も元気であれば仕事を続けたいと思っても、免許更新が定年後すぐやってくると、更新までしてなあと考え

〇定年後も元気であれば仕事を続けたいと思っても、免許更新が定年後すぐやってくると、更新までしてなあと考え

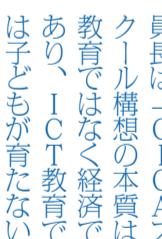
〇定年後も元気であれば仕事を続けたいと思っても、免許更新が定年後すぐやってくると、更新までしてなあと考え

〇定年後も元気であれば仕事を続けたいと思っても、免許更新が定年後すぐやってくると、更新までしてなあと考え



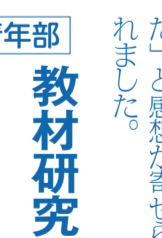
女性部総会が6月26日開かれ、6支部20人が参加し、21年度の運動方針を決定しました。女性部長はあいさつで「現場ではまだ女性に負担が強いとされている現状があり、組合員一人ひとりの声と要求に基づき運動を進めていきたいと思います」と述べました。宮城委

女性部はコロナ禍でもママ友会議や学習会、総会を行った。総会では、20人以上が集まり、妊娠傷害休暇を14日に戻してほしいという要求、ハラスメントをなくす取り組みとして、管理職が、妊娠中の教職員について、理解を深めてほしいという要求も共有された。コロナ禍でも、集まって語ることの重要性を感じている。引き続き行い、取り組みを進めていく。



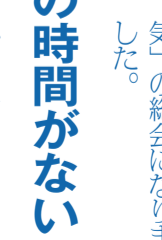
女性部総会が6月26日開かれ、6支部20人が参加し、21年度の運動方針を決定しました。女性部長はあいさつで「現場ではまだ女性に負担が強いとされている現状があり、組合員一人ひとりの声と要求に基づき運動を進めていきたいと思います」と述べました。宮城委

女性部はコロナ禍でもママ友会議や学習会、総会を行った。総会では、20人以上が集まり、妊娠傷害休暇を14日に戻してほしいという要求、ハラスメントをなくす取り組みとして、管理職が、妊娠中の教職員について、理解を深めてほしいという要求も共有された。コロナ禍でも、集まって語ることの重要性を感じている。引き続き行い、取り組みを進めていく。



女性部総会が6月26日開かれ、6支部20人が参加し、21年度の運動方針を決定しました。女性部長はあいさつで「現場ではまだ女性に負担が強いとされている現状があり、組合員一人ひとりの声と要求に基づき運動を進めていきたいと思います」と述べました。宮城委

女性部はコロナ禍でもママ友会議や学習会、総会を行った。総会では、20人以上が集まり、妊娠傷害休暇を14日に戻してほしいという要求、ハラスメントをなくす取り組みとして、管理職が、妊娠中の教職員について、理解を深めてほしいという要求も共有された。コロナ禍でも、集まって語ることの重要性を感じている。引き続き行い、取り組みを進めていく。



女性部総会が6月26日開かれ、6支部20人が参加し、21年度の運動方針を決定しました。女性部長はあいさつで「現場ではまだ女性に負担が強いとされている現状があり、組合員一人ひとりの声と要求に基づき運動を進めていきたいと思います」と述べました。宮城委

女性部はコロナ禍でもママ友会議や学習会、総会を行った。総会では、20人以上が集まり、妊娠傷害休暇を14日に戻してほしいという要求、ハラスメントをなくす取り組みとして、管理職が、妊娠中の教職員について、理解を深めてほしいという要求も共有された。コロナ禍でも、集まって語ることの重要性を感じている。引き続き行い、取り組みを進めていく。

仲間が増えた!

住民投票の声かけがきっかけに 突破講座で大教済5人加入

講師のAさんは職場の組合員に「私、組合に入ります」と自ら加入を申し出ました。昨年の住民投票をきっかけに大阪市の問題を、いろいろ話をするようになりました。そして、今年度から大阪で働くことになったAさんの知り合いが、組合加入されたことも後押しとなり、加入となりました。

教採突破講座では、組合・大教済の紹介や加入の呼びかけを旺盛に行っています。19日の講座では、終了後も会場のあちらこちらで対話が続き、同じ職場から参加した3人を含む5人が大教済に加入。職場や知り合いの人との対話から加入が広がります。あなたのまわりの人に声をかけることから始めてみませんか。

教え子を再び戦場に送るな!